

生産現場で活かせる原価管理の基本講座

～コストダウンに活用できる原価管理手法を学ぶ～

□日 時：2019年10月10日(木) 10:00～17:00(6H)

□講 師：株式会社アティックフェイス
代表取締役 ^{あら や とし や} 顯谷 敏也 氏

□会 場：本会関西本部内 専用教室(下記案内図参照)
大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□主 催：一般社団法人 日本経営協会

□開催にあたって

利益を確保するためには、売上を上げるアプローチだけでなく、原価をしっかりと管理することが重要です。原価管理を行うことは、単に製造コストを抑えるだけでなく、製造現場の生産性向上や戦略的な営業を行っていく上でも重要になっています。

本セミナーでは、まず原価管理の意義や必要性を説明した上で、実際に原価管理を行うための実務手法について学んでいただきます。やみくもにコストを削減するのではなく、適正原価に基づく現場改善の取り組み方や、原価管理における留意ポイントを解説いたしますので、自社の原価管理にお悩みのご担当者の皆様におすすめいたします。

対象 ●生産、購買、経理部門担当者

講師紹介

株式会社アティックフェイス
代表取締役 ^{あら や とし や} 顯谷 敏也 氏

関西大学大学院 工学研究科、関西学院大学MBA 修了。シャープ株式会社にて、ソフトウェア・エンジニアとしてプリント基板設計用のCADシステムの開発・マネジメント業務に15年に渡り携わった後、全社緊急プロジェクトチームにて、当時世界最大規模の液晶テレビ工場である亀山工場の立上げ、海外生産拠点の生産性指導・現地教育・システム構築などに10年以上に渡り従事。システム開発部門の室長、部長を歴任し、13年以上のマネージメント・キャリアを有す。

2012年に中小企業診断士として独立後、製造業を中心に「原理・原則」に基づく経営改善・現場改善指導を行うとともに、研修機関等での人材育成・教育に重点を置いた活動も展開。2017年より兵庫県立大学 経営研究科 教授。

■ 申込要領 ■

参加料(1名につき)：

	本会会員	一般
参加料	30,000円	35,000円

※参加料には、別途消費税がかかります。

申込方法：

- 裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAX等にてお申込みください。追って、請求書と参加券をご派遣責任者までお送りいたします。参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報ください。)
- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
 - 開催3日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがご連絡ください。
 - 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

WEBお申込みのご案内

本会ホームページからも、セミナーご参加のお申込みが可能です。お申込みが完了しましたら、ご確認メールをお送りいたします。

WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <https://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナー」を探すよりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます
- 7 お申込み完了

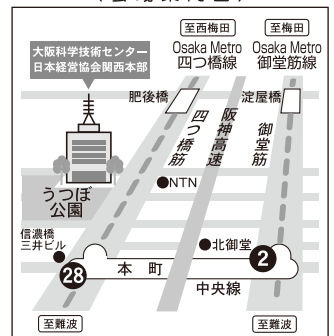
キャンセルについて：

開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までにご連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

その他：

- 教材は当日お渡しいたします。
- ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
- 録音・録画・写真撮影はお断りいたします。
- 受講中はパソコンのご使用をお控え願います。
- 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただきます場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

〈会場案内図〉



- 大阪方面よりお越しの場合
- ▶四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- 新大阪方面よりお越しの場合
- ▶御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
- ▶四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- ▶御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

お申込・お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：田中
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <https://www.noma.or.jp/kansai/>
TEL 06(6443)6962(ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

□プログラム

1. 原価管理の意義

- (1) 会社の儲けを増やすには？
- (2) 原価管理と計算基準

2. 原価の構造

- (1) 材料費
- (2) 労務費
- (3) 経費

3. 原価計算のルール

- (1) 決算書の構造
- (2) キャッシュの流れを考える
- (3) 製造原価明細書と財務諸表
- (4) 製造原価と利益のつながり

4. 原価を管理するとはどういうことか

- (1) 事業活動と原価
- (2) 目標管理
- (3) 材料ロスと分析
- (4) 財務会計と管理会計
- (5) 原価分類
- (6) 製品と稼働率

5. 原価計算の手順

- (1) 費目別集計
- (2) 部門別原価計算と配賦
- (3) 製品別原価計算

6. コストダウンにむけた原価管理の活用法

- (1) 活動基準原価計算(ABC)の考え方
- (2) 伝統的な補助費の配賦
- (3) 活動基準原価計算の事例

7. 原価見積の手法

- (1) 見積原価と標準原価
- (2) 見積原価計算の手順
- (3) 材料単価と消費量
- (4) 加工費レート
- (5) 標準時間体系
- (6) 原単位

8. 損益分岐点を理解する

- (1) 財務会計と管理会計
- (2) 変動費と固定費
- (3) 損益分岐点
- (4) 操業管理
- (5) 限界利益と直接原価計算
- (6) 直接原価計算と全部原価計算
- (7) 限界利益と付加価値額

9. 原価低減に向けたアプローチ

- (1) 原価管理のPDCA
- (2) 部門別の原価低減アプローチ
- (3) 生産性と原価管理

10. まとめ

□担当講師より

売り上げ拡大が難しい現在、原価管理をきっちりと出来ている企業とそうでない企業には大きな利益の差が生じています。変化に対応していくためには、今までの経験やどんぶり勘定ではなく、適正な原価を把握し、それに基づいた戦略を立てていく必要があります。

今回の講座では、そんな原価管理を理解し、現場で活かすための手法と勘所について、スタッフ部門の方にも基本からわかりやすく解説します。

※出張研修も承っております。裏面のお申込先までお問い合わせ下さい。

(3.5)

FAX (06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部企画研修グループ (田中) 宛

NOMA		「生産現場で活かせる原価管理の基本講座」参加申込書 (3271)		2019.10/10 30,000/35,000	
(フリガナ) 会社名： 団体名	TEL ()	—	ご派遣責任者：		
(フリガナ) 所在地：	FAX ()	—	所属・役職：		
参加者氏名	所属・役職名	ご経験年数	●お支払い方法 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> その他 通信欄 ご請求先(ご担当) (ご所属)		
(フリガナ)		年 月			
(フリガナ)		年 月			
(フリガナ)		年 月			
※Eメールで本会セミナー情報をご案内いたしますので、アドレスをご記入ください。 []					

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □ 不要